

NEWS

01
特集

九州大学病院別府病院 新病院開院

02 開院記念式典

03 内覧会

04 施設・設備の紹介

05 九大病院トピックス



新病院正面全景



3Fダイニングから望む別府湾



正面玄関

KYUSHU UNIVERSITY BEPPU HOSPITAL



Kyushu University Beppu Hospital

NEWS
01

九州大学病院別府病院 新病院開院

九州大学病院別府病院は、昭和6年に九州帝国大学温泉治療学研究所の診療科として発足して以来、主に別府地域の住民を対象に、難治性疾患の治療に取り組んできました。

築45年以上の老朽化した施設を整備し、時代に応じた医療の提供、さらなる地域貢献を行うため、令和3年より本格的な再開発事業を行ってきましたが、このたび令和6年3月1日に新病院が開院しました。

新病院では手術室を拡充し、4月からは婦人科の診療も開始しました。更なる地域貢献を目指し、職員一同丸となって取り組んでまいります。



開院にあたって

ひとつこと

九州大学病院長 中村 雅史

九州大学病院本院にとっても歴史的節目とも言うべき別府病院の新病院開院が、長い改築工事を経て、ようやく実現する日を迎えました。

患者さんが安心して、最新の医療設備を活用した最良の診療を受けられるよう、本院も密に連携を取ってまいります。



別府病院長 三森 功士

新病院は婦人科を加えた7診療科120床の体制に拡充され、本年4月1日に診療を開始しました。職員も増えて施設機器も新しくなります。「もし自分や家族が病気になったらかかりたい病院」を合い言葉に、一丸となって頑張ります！



婦人科 の新設



大分県内で不足している婦人科領域の疾患に対応する診療体制を整備するため、「婦人科」を新設しました。地域における診療領域の差別化・棲み分けを意識し、腫瘍に重点を置いた診療を行ってまいります。

園田 顕三 診療科長



別府病院での産婦人科診療は2006年5月1日をもって終了しておりましたが、「婦人科」という形で再開となりました。この節目の時期にお仕事をさせていただく機会を得て、たいへん光栄です。

現代社会において、女性の社会活動はきわめて重要な位置づけとなりました。女性が健康的に社会活動を行えるように、質の高い医療支援が必要です。

当院では婦人科がん治療を中心に、女性ヘルスケアも取り入れた診療を行いたいと考えています。

赴任したばかりで、周囲のスタッフに支えられながらの医療従事ではありますが、患者さんに安心して治療をうけていただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



婦人科診察室入り口



婦人科診察室



婦人科処置室



内科

三苦 弘喜 診療科長



当科では消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、リウマチ・感染症内科の専門医が高い専門性をもって診療にあたるのと同時に、全身を総合的に診ることを大切にし、地域のニーズに応えられる総合内科を目指します。

整形外科

播広谷 勝三 診療科長



整形外科では脊椎・脊髄外科に特化した診療を行っています。新病院の手術室には2つのBCR(バイオクリーンルーム)を設置し、より充実した診療を行ってまいります。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

放射線科

平川 雅和 診療科長



新病院では、フィリップス社製3テスラMRI装置、旧病院よりもより高精度な放射線治療が可能なバリアン社製放射線治療装置など、九大病院本院と同じ装置へ更新しました。これで本院と同等の放射線診療を提供可能となり、スタッフ一同協力してより体に優しい放射線診療を提供してまいります。

麻酔科

瀬戸口 秀一 診療科長



平成5年九州大学卒で、新年度から麻酔科長に着任した瀬戸口秀一です。九州大学と佐賀大学で10年間手術部運営に関わった経験を活かし、新病院でも利用する人が安心して納得できる麻酔管理・手術室運営を目指します。

開院記念式典

令和6年3月1日の新病院開院にともない、2月12日に記念式典が行われました。

当日は、晴天に恵まれ、元防衛大臣の岩屋毅衆議院議員、自見はなこ内閣府特命担当大臣、長野恭紘別府市長をはじめ、多くのご来賓に参加いただきました。本学からは、石橋達朗総長、三森功士別府病院長、中村雅史九州大学病院長らが参加しました。

テープカットや施設内覧会、祝賀会も行われ、別府病院の新たな門出を大勢で祝いました。

式辞を述べる
三森別府
病院長

石橋総長
による
あいさつ

中村病院長
による
あいさつ

関係者による
テープカット

鏡開きの
様子



内覧会

開院記念式典当日には、関係者の皆様に向けた内覧会も開催されました。

診療を再開する婦人科の診察室、拡充された手術室、最新の機器を導入した放射線治療室、さらに別府湾の壮麗な眺望が堪能できるデイルームなど、新病院の見どころを一つひとつご紹介しました。

患者さんへ
「癒やしの空間」を
とどけます。



屋上にて



九州大学
芸術工学研究院とコラボした
パーセントフォーアートも実現しました。

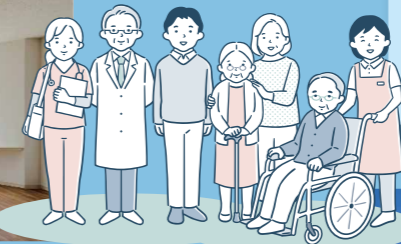
※パーセントフォーアート：公共建築の建設費の1%を
芸術やアートのための費用に充てるという取組



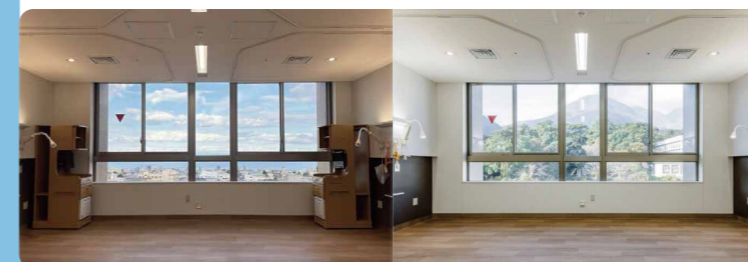
「跳躍山犬」

制作：芸術工学研究院 知足 美加子 教授

別府湾を一望できるデイルーム



病室からは、海側が別府湾、山側は鶴見岳が見えます



夜も
すれい
でき!



NEWS
04 施設・設備の紹介

旧病院では、施設の老朽化や診療スペースの狭さが課題でした。このたび新しくなった新病院の一部をご紹介します。



スタッフステーション



待合ロビー

放射線治療装置

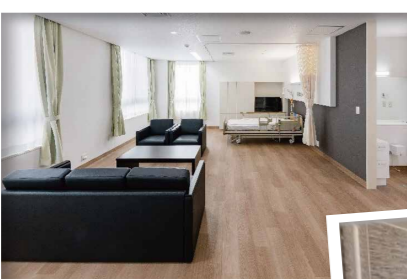
高性能な放射線治療が可能です



バリアン社製放射線治療装置



外来診察室



特別室

特別室も5タイプご用意しています(写真は特別室A)



手術室

各部署
連絡先

- 診療などに関する問い合わせ先 0977-27-1600(代表)
- 外来予約受付、予約の変更などの問い合わせ先 0977-27-1709(予約受付)
- 整形外科、内科(リウマチ・膠原病、腫瘍、循環器) 0977-27-2055(地域医療連携室) 初診患者さんの問い合わせ先 FAX:0977-27-3008

NEWS
05 九大病院トピックス

TOPICS

能登半島地震被災地にて支援活動を行いました

令和6年能登半島地震の被災地支援のため、DMAT(災害派遣医療チーム)、DPAT(災害派遣精神医療チーム)、JDAT(日本災害歯科支援チーム)を派遣しました。

各チームはそれぞれ、被災地域で活動するために専門的な訓練を受けた医師・看護師・臨床心理士・歯科医師・歯科衛生士等で構成されています。

活動期間は1~3月のうち5日間程度で、現地で避難所・避難施設の巡回や被災医療機関の診療支援などを行いました。

今後も被災地の復興のため、支援活動を続けてまいります。



DPAT(災害派遣精神医療チーム) JDAT(日本災害歯科支援チーム)



DMAT(災害派遣医療チーム)

ヨーロッパ品質研究協会より
Quality Achievements Award 2023を受賞しました!

このたび、九州大学病院は、スイスに本部を置くESQR(European Society for Quality Research:欧州品質研究協会)からQuality Achievements Award(品質功績賞)2023を受賞しました。この賞は、品質管理において優れた成績をあげた組織を表彰するものです。

九州大学病院は、最先端の医療を実施しつつ、医療安全管理部を設置して「最先端でありながらも安全である」ことを実現してきました。このような日々の取組が評価され、今回の受賞につながりました。

授賞式は2023年12月にUAEのドバイで行われ、トロフィーと賞状が授与されました。

今後もさらなる医療の質向上を目指し、全力を尽くしてまいります。



ESQR会長と中村病院長